



健やか親子21

平成 29 年度

育てにくさに寄り添う支援を行うための乳幼児健診についての研修

【主催】厚生労働省

《開催に当たり》

乳幼児健診等の親子と接する機会は育児不安・育児困難に対する予防的支援や早期介入のきっかけとなり得る場であるため、その機会を通じて親子が発信する多面的な要素による様々な育てにくさのサインを受け止め、丁寧に向き合い親子に寄り添い支援をしていくことが重要とされています。そこで本研修では、「健やか親子21（第2次）」の重点課題の1つである「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」について、「育てにくさ」の背景にある親子の問題の所在を見極め、適切な対応ができる人材を養成することを目的に開催いたします。

《開催日・会場》 **受講料:無料 定員:各 100 名**(定員を超える申し込みがあった場合は先着順)

9月 6日(水)【大阪】新大阪丸ビル別館 2階 2-3号室(大阪府大阪市)

9月 11日(月)【東京】ヒューリック浅草橋ビル 3階 カンファレンス ROOM1(東京都台東区)

《受講対象者》 市町村の母子保健担当で乳幼児健診に携わる者

**※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。**

《到達目標》

- ・乳幼児健診の機会を活かし、育てにくさの背景にある親子の問題の所在を見極め適切に対応できる。
- ・早期介入のために親子が発信する様々なサインを理解し、適切な支援を行うことができる。

《プログラム》(受付 9:40~9:55) ※敬称略

9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~11:30 講義① 「育てにくさを感じる親の気持ちに寄り添う支援」

- ・乳幼児健康診査の在り方 ・「育てにくさ」の要因を分析する
- ・健診や相談の場での親への伝え方の留意点 ・健診後のフォローの流れ 等

講師：秋山 千枝子

11:30~12:30 昼休み

12:30~14:00 講義② 「サインの見極めと早期介入～子どもの要因・環境に関する要因～」

- ・乳幼児健診における子ども・環境への対応の留意点
- ・要因に応じたサインと適切な対応・支援、関係機関との連携
- ・隠れたニーズ、サインを見逃さないために

講師：小倉 加恵子

14:00~14:20 休憩

14:20~15:50 講義③ 「サインの見極めと早期介入～親の要因・親子関係に関する要因～」

- ・乳幼児健診における親・親子関係への対応の留意点
- ・要因に応じた支援、関係機関との連携
- ・隠れたニーズ、サインを見逃さないために

講師：田中 恭子

15:50~ 閉会・解散

《講師プロフィール》(五十音・敬称略)

秋山 千枝子 あきやま子どもクリニック 院長

小倉 加恵子 社会医療法人大道会森之宮病院小児神経科

田中 恭子 国立成育医療研究センターこころの診療部思春期メンタルヘルス科 医長

● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局：一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

<http://www.jfpa.or.jp/> 電話 03-3269-4785 (平日 9時~17時・祝日除く) FAX 03-3267-2658

「母子保健指導者養成研修会」WEBサイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/>

受講を御希望の方は専用の申込書又はウェブサイトよりお申込みください。